

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 4 月 1 日

事務事業名		国・県・消防協会参画事業				事業区分		担当	
政策体系上の位置付け		新規/継続		継続		事務事業No.		040102000674	
総合計画の施策名		単独/補助		単独		所属課		030401	
政策名		0401		防災・消防対策の充実		主要事業		対象外	
政策名		04		快適で潤いのある生活環境づくり		市長マニフェスト		対象外	
施策名		01		防災・消防対策の充実		未来PJ事業		対象外	
基本事業名		02		防災消防体制の強化		合併建設計画事業		対象外	
財務会計上の位置付け		事業期間		単年度繰返し (平成18年度~)		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
予算科目		会計		款		項		目	
01		09		01		02		01	
法令根拠		00		非常備消防事業					

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
消防庁、茨城県消防安全課、日本消防協会、茨城県消防協会、茨城県消防協会 県西支部が主催する事業への参加、各種情報提供の授受、負担金の支払い、調査物の提出、表彰の上申を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防庁所有無償貸付車両の借受申請</li> <li>県消防協会理事会及び評議員会、県西支部総会への随行</li> <li>消防団長研修会、女性消防団研修会への随行</li> <li>茨城県・市町村総合防災訓練への随行</li> <li>操法大会参加取りまとめ</li> <li>消防大会及び消防殉職者慰霊祭への随行</li> <li>全国女性消防団活性化大会への随行</li> <li>茨城県女性消防団活性化大会への随行</li> <li>県西支部消防団長等懇談会への随行</li> <li>各種表彰への上申、叙勲・褒章等受章祝賀会への随行</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>消防庁所有無償貸付車両の借受申請</li> <li>会議及び研修会への随行</li> <li>各種表彰への上申</li> </ul>	各機関主催行事への参加回数	回	13.00	15.00	15.00	15.00	15.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
消防団員	消防団員数	人	561.00	555.00	554.00	560.00	560.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
関係機関同士の連携強化を図ることで防災消防体制を強化させる。	住みやすい住環境であると答えた人の割合	%	47.60	47.60	50.00	52.00	54.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	期間限定 総投入量
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	1,010	1,016	980	980	980	
	事業費計(A)	千円	1,010	1,016	980	980	980			
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人			
	述へ業務時間	時間	103.00	93.00	84.00	84.00	84.00			
	人件費計(B)	千円	299	270	244	244	244			
トータルコスト(A)+(B)			千円	1,309	1,286	1,224	1,224	1,224		

事業費の内訳	27年度事業費 実績(千円)			28年度事業費 予算(千円)		
	19 負担金補助及び交付金	1,016		19 負担金補助及び交付金	980	
	合計	1,016		合計	980	

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>主要事業</li> <li>市長マニフェスト</li> <li>未来PJ事業</li> <li>合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	国・県・消防協会参画事業	事務事業No.	40102000674	所属課	生活安全課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 消防団発足当時から日本消防協会及び茨城県消防協会へ加入しており、主催事業に参加した際は情報交換等の貴重な場所として利用できている。茨城県防災航空隊は平成7年4月1日に設置され、県内の全市町村が協議会に加盟している。茨城県消防協会県西支部は県西地区の消防団相互の連携強化のため設置され、現在も会議や研修等で連携を深めている。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 会議や研修等に参加することで、関係機関と意見交換ができるため各種事業へ参加することは重要であるとの意見がある。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	消防団員が関係機関相互に連携を深めることは防災消防体制の強化に繋がるため、市の政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	各団体の事業へ参加することで桜川市の防災消防体制の強化に繋がるため、市が負担金を支払うことは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない	事業へは積極的に参加しており、その中で情報交換等を確実にしているため、これ以上の成果の向上余地はない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	関係機関との繋がりがなくなった場合は、有事の際に連携が取れなくなり防災消防体制の弱体化に繋がる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない	類似事業はないため、統廃合や連携はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない	各団体からの請求に基づいた負担金であるため、削減余地はない。また、業務時間の大半は各事業へ参加している時間であるため、削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	防災消防体制の強化はすべての市民が受益者となるため、特定の受益者はいない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業へ参加したり、情報の提供を受けたりすることは消防団活動に対するモチベーションの向上に繋がり、ひいては防災消防体制の強化に繋がるため、負担金を支払って今後も関係機関事業に参画していくことが必要である。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果 ⑦																								
コスト削減優先度評価結果 ⑥																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>